

Title	第五十四巻第一号-第六号総目次：昭和三十六年上半年期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.6 (1961. 6) ,p.1- 5
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610601-0081">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610601-0081</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第五十四卷 第一号～第六号 総目次 (昭和三十六年上半年)

論 説

論 説	著者	号	頁	通頁
人口質をめぐる若干の考察……………	寺尾 琢磨	一	一	一
ペテュー労働価値説の一考察(1)……………	茅野 泰夫	一	一四	一四
主要繊維産業に於ける設備投資の計量分析による一考察……………	高橋 房二	一	二八	二八
資本主義における土地所有の一般的性質……………	小池 基之	二	一	七七
ソ連成長方式の意味するもの……………	加藤 寛	二	一八	九四
現代資本主義における成長・インフレ・分配……………	丸尾 直美	二	三〇	一〇六
プランキに関する断片……………	平井 新	三	一	一五九
「国民の職分」にかんする若干の考察——思想史の問題点——……………	田中 明	三	二〇	一七八
輸出経済の形成——ビルマの米輸出貿易——……………	矢内原 勝	四	一	二五一
十九世紀イギリス労働運動とマルクス主義(一)……………	飯田 鼎	四	一九	二六九
——一八四八年の革命以後におけるマルクスおよびエンゲルスとイギリス労働者階級——……………				
有業率変動の分析——勤労者家計の労働供給構造の解明——……………	尾崎 巖	四	三五	二八五
社会政策と生活構造……………	中鉢 正美	五	一	三四七
第一次大戦後の農業恐慌の性格(上)——一般的危機第一段階における農業恐慌の分析(一)——……………	常盤 政治	五	八	三五四

江戸時代経世済民論の一考察——林子平の「富国」策を中心として……………	島崎隆夫	六	一	四三七
第一次大戦後の農業恐慌の性格(下)——一般的危機第一段階における農業恐慌の分析(一)……………	常盤政治	六	一七	四五三

資料

第一次世界大戦の勃発とドイツ社会民主党——ドイツ社会運動史にかんする最近の資料(四ノ一)……………	飯田 鼎	一	四九	四九
サン・シモン主義に関する研究ノート(一)……………	野地洋行	二	五六	一三二
十九世紀末期から二十世紀初頭にかけてのドイツ帝国東部および中部における農業季節労働者の状態……………	飯田 鼎	三	三二	一九〇
巨視的計量経済模型の動学的性質に関するふたつの研究について……………	西川俊作	三	四五	二〇三
独占度測定の問題I……………	原 豊	四	六〇	三一〇
現代資本主義と混合経済の論理……………	丸尾直美	四	七〇	三二〇
経済活動の地理的側面に関する古典学派の所説……………	高橋潤二郎	五	三五	三八一
明治社会主義史料にあらわれた外国社会主義運動——「直言」を通じてみた……………	飯田 鼎	六	三九	四七五
村の細民——十七世紀フランス農業史研究の一齣……………	渡辺國廣	六	四六	四八二

研究ノート

信用形態にかんする覚え書——利子生み資本論の一論点……………	飯田裕康	五	五〇	三九六
--------------------------------	------	---	----	-----

学界展望

財政学研究の最近の一動向……………	大島通義	五	六二	四〇八
-------------------	------	---	----	-----

書評

エリック・ウォルドマン著『スバルタクス団の蜂起』……………	飯田 鼎	一	六二	六二
ルドルフ・コッパル著『革命の失敗』……………	渡辺和一郎	一	六六	六六
P・ホグリーフ著『トマス・モアをめぐる人々』……………	飯田 鼎	二	六五	一四一
S・R・グローバード著『イギリス労働党とロシア革命——一九一七年——』……………	飯田 鼎	二	六八	一四四
登原長寿著『ソ連邦の保険——生命保険と損害保険の理論と実際——』……………	庭田範秋	二	七二	一四八
真野 脩著『経営年金制度』……………	庭田範秋	二	七二	一四八
ポルシェネフ著『フロンドの乱前のフランスにおける暴動』……………	渡辺國廣	三	五七	二一五
W・スタルク著『知識社会学——思想史の方法——』……………	飯田 鼎	三	六二	二二〇
杉山忠平訳『経済学の哲学的基礎』……………	白井 厚	三	六六	二二四
サン・シモンの歴史観に関する二つの論文——研究資料として——……………	野地洋行	三	七二	二三〇
国有化問題をめぐる最近の文献……………	丸尾直美	三	七七	二三五
岸本英太郎・渡辺春男・小山弘健著『片山潜』……………	飯田 鼎	四	八一	三三一
隅谷三喜男著『片山潜——近代日本の思想家』……………	飯田 鼎	四	八五	三三五
マッセ『亡命貴族の財産をめぐって』……………	渡辺國廣	四	八五	三三五
田中惣五郎著『日本ファシズム史』……………	白井 厚	四	八九	三三九
吉岡金市著『森近運平——大逆事件の最もいたましい犠牲者の思想と行動』……………	飯田 鼎	五	七〇	四一六

『ラブルール』——一つの存在形態	渡辺國廣	四	七三	四一九
山田盛太郎著『日本農業生産力構造』	寺尾誠	五	七九	四二五
アラム・ヴァルタニアン著『ラ・メトリーの人間機械論』	野地洋行	五	八一	四二七
荒畑寒村著『寒村自伝』	飯田鼎	六	五七	四九三
全国農業協同組合中央会編『共済事業の理論と実務』	庭田範秋	六	六〇	四九六
エリザベス・アイゼンシュタイン著『最初の職業的革命家、フィリップ・ミケル・ブオナロッティ(一七六一—一八三七)——伝記的評論』	野地洋行	六	六五	五〇一
Z・G・ピルビヤ共著『大都市シカゴの経済分析』	高橋潤二郎	六	六九	五〇五

新刊紹介

服部春彦『アンシャン・レジーム末期の分益小作農について』	渡辺國廣	一	七二	七二
石田祐六著『火災保険の研究』	庭田範秋	一	七二	七二
菊池勇夫編・九州大学『社会法綜説(上)・(下)——労働法・社会 社会法講座三十周年記念』	庭田範秋	一	七三	七三
平林康之著『戸 坂 潤』	野地洋行	一	七四	七四
中山伊知郎監修 エコノミスト編集『日本経済の成長』	佐藤保	一	七五	七五
山田盛太郎著『日本農業生産力構造』	常盤政治	二	七七	一五三
『講座・日本の労働問題・(一)賃金』	井村喜代子	二	七七	一五三
B・C・ネムチノフ編 松 沢 誠『マルクス経済学的方法・上巻』	持丸悦朗	二	七八	一五四
長 守善著『福祉国家イギリス』	丸尾直美	二	七九	一五五
C・プリンソン著 河原 和典共訳『近代精神の形成』	村田光義	二	八〇	一五六
浅沼 和典共訳『近代精神の形成』	飯田裕康	二	八一	一五七
大島清・斎藤晴造著『金融論』				
加藤俊彦・玉野昌夫				

山田雄三著『国民所得論』	大熊一郎	三	八五	二四三
鈴木一著『国民所得の基礎理論』	渡辺國廣	三	八六	二四四
大川一司編『国民所得』	常盤政治	三	八七	二四五
グリーン編『プロテスタンチズムと資本主義』	中村勝己	三	八八	二四六
石原忠男著『恐慌の経済理論』	寺尾誠	三	八九	二四七
今津 晃著『アメリカ革命史序説』	高山隆三	三	九〇	二四八
今井則義(他)著『日本の国家独占資本主義』	佐藤芳雄	三	九一	二四九
伊東勇夫著『現代日本協同組合論』	渡辺國廣	四	九四	三四四
池内信行編『中小企業論』	白井厚	四	九四	三四四
グリーンロー編『フランス革命の経済的原因』	中村瑞穂	四	九五	三四五
日高六郎著『現代イデオロギー』	渡辺國廣	四	八六	四三二
A・A・パトリ著、加藤 寛・関口操・丸尾直美共訳『財産なき支配』	寺尾誠	五	八六	四三二
J・ヴィダランク『第一帝政の末期におけるノルマンディの農業』	白井厚	五	八八	四三四
宇尾野久著『西洋中世初期社会経済史研究』	持丸悦朗	五	八九	四三五
W・J・スベンクラト編『経済思想論文集』	深海博明	五	九〇	四三六
花井益一著『価値と貨幣』	渡辺國廣	六	七五	五一二
楊井克己編『世界経済論』	平野絢子	六	七六	五一二
J・O・リマース『マックス・ウェーバーの プロテスタンティズムの倫理』をめぐって』	西川俊作	六	七六	五一二
ソレントロウエズ編『ソ連邦の協同組合』	深 海 博 明	六	七六	五一二
協同組合経営研究所訳『ソ連邦の協同組合』	佐藤保	六	七九	五一五
森田優三監訳『需要分析』				
片山謙二著『世界貿易の発展——発展過程の実証的分析——』				
日本生産性本部生産性研究所編『消費革命とレジャー産業』				